

小泉八雲 朗読のしらべ

〈出演〉

脚本・朗読

佐野史郎

音楽・ギター

山本恭司

監修・講演

小泉 凡

佐野史郎と山本恭司…松江出身の二人が朗読と音楽で織りなす小泉八雲の世界。



うぶすな



～漂着の浜辺からの呼び声～

2018

10/14[日] 開演 17:30
(開場 17:00)

会場：興雲閣 (松江城二の丸内)

入場料〈全席自由〉前売 3,500円 / 当日 4,000円 ※未就学児入場不可

チケット販売 チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 639895) 島根県民会館チケットコーナー、プラバチケットコーナー

◎入場整理券は、当日16時から興雲閣前にて配布します ◎チケット1枚につき、入場整理券を1枚配布します
◎入場整理券は再発行しませんのでご注意ください ◎17時から入場整理券の番号順に会場へご案内いたします

8月1日(水)チケット発売開始

主催：神在月まつえ文化・観光月間実行委員会 共催：山陰日本アイランド協会
協賛：東横INN・山陰ケーブルビジョン 後援：八雲会・小泉八雲記念館

■お問い合わせ：松江市観光文化課 TEL0852-55-5517



小泉八雲 朗読のしらべ

1部 講演
2部 朗読LIVE

「産土」といえば、誰もが故郷や産土神(氏神)のことを想像します。「産土神」の由来は、海岸部の人々がかつて浜辺に産屋をつくって出産していた時代の、産屋の砂を司る神に辿り着くとされます。人間の魂の故郷は、海と密接だったことを八雲は幾篇もの短編に描いてきました。

具体的には、松江時代の山陰海岸の旅や熊本時代の有明海の船旅、焼津での散策中の聞き書きなどから、海と地上を去来する人間の魂の物語に出会い、紀行文や再話文学に綴っています。

海鳴りの音は、死者たちの声の集合体だという、フランスはブルターニュケルトの言い伝えにいたく共感した八雲は、海の彼方や地下世界をめぐる物語に過去の人々の呼び声を受けとめ、人間の魂の故郷や行方を探し続けていたのかもしれない。

小泉 凡

プロフィール



佐野史郎

俳優。鳥根県松江市出身。

1975年、劇団シェイクスピアシアターの創立に参加。1980年より劇団状況劇場(唐十郎主宰)を経て、1986年林海象監督「夢みるように眠りたい」で映画主演デビュー。1992年テレビドラマ「ずっとあなたが好きだった」(TBS)のマザコン男、「冬彦」役が社会現象となる。1999年、映画「カラオケ」で初監督。2006年、植田正治の写真をモニタージュした映像作品「つゆのひとしずく」(DVD/2006年/東映アニメーション)を監督。アレクサンドル・ソクーロフ監督「太陽」、カン・ジェギョ監督「マイウェイ」など海外作品にも出演。これまでの出演作品は110本を超える。

幼少期から幻想怪奇の世界に親しみ、松江ゆかりのラフカディオ・ハーン=小泉八雲にも惹かれていた。映像の仕事にたずさわるようになり、ますます小泉八雲作品と関わる機会も増え、2006年に松江で始まった小泉八雲の朗読は今やライブワークとなっている。

BOWWOWの山本恭司とは松江南高校の同級生で、音楽を通じて当時から深く親交が続いている。



山本恭司

ミュージシャン。鳥根県松江市出身。

15歳でギターをはじめ、18歳でヤマハ・ネム音楽院に入学。その頃より天才ギタリストとしての呼び声高く、在学中にBOWWOWのリード・ギタリスト、リード・ボーカリストに抜擢される。デビュー当時は、キッスやエアロスミスとのツアーが大きな話題を呼び、豪快で圧倒的なサウンドとギターテクニックにより常に日本のロック・シーンをリードしてきた。その後、VOW WOVを結成しロンドンをベースにヨーロッパ、アメリカで約4年間活動。イギリスでチャートインするなど海外での評価も高く、海外有名アーティストへの影響力も大きい。バンド活動以外にも、ギター・インストゥルメンタル・アルバムのリリースやジャズ・フュージョン系ミュージシャンとのセッション、アコースティックの弾き語り、最近では俳優・佐野史郎との「朗読のしらべ」の音楽を担当するなど、他アーティストのプロデュースに至るまで、その幅広い音楽性を武器に世界の音楽シーンで活躍している。



小泉 凡

小泉八雲記念館館長・焼津小泉八雲記念館名誉館長・鳥根県立大学短期大学部名誉教授。東京都出身。

成城大学・同大学院文学研究科で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践研究や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。2017年7月、日本・アイルランドの文化交流貢献で外務大臣表彰。主著に『民俗学者・小泉八雲』(恒文社、1995年)、『怪談四代記—八雲のいたづら』(講談社、2014年)ほか。小泉八雲會孫。日本バンククラブ会員。

